

令和7年フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長(2)中南信

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

【コメント】

- ・塩尻市では、5月第2半旬に初誘殺され、誘殺頭数は、6月第3～第6半旬は平年並であったが、その他の期間は平年と比べ多く、7月に入り急増し、平年値の約6倍の誘殺頭数であった。
- ・松川村では、調査開始の5月第4半旬から誘殺され、6月下旬の誘殺頭数は平年並～やや少なかったが、7月に入り急増し、平年と比べ多かった。
- ・富士見町では、調査開始の4月第4半旬から誘殺され、平年並～平年と比べやや多い誘殺頭数で推移している。
- ・茅野市では、調査開始の4月第4半旬から誘殺され、5月～7月中旬の誘殺頭数は平年と比べ多く、特に7月上中旬は平年値の2.5～5倍であった。
- ・伊那市では、調査開始の5月第2半旬から誘殺され、7月第3半旬までの誘殺頭数は平年と比べ多かった。
- ・駒ヶ根市では、5月第5半旬から誘殺され、6月の誘殺頭数はほぼ平年並であったが、6月第6半旬～7月第3半旬は、平年と比べやや多かった。
- ・阿南町では、調査開始の5月第1半旬から誘殺され、5月～7月の誘殺頭数は平年と比べ多く、特に6月第4半旬～7月第3半旬はかなり多かった。



